

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農政環境部長

秋雨前線等の影響による日照不足と長雨への対策について (送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 農作物栽培上の留意点と対応策

作物	栽培管理上の留意点と対応策	
水稲	<p><収穫適期の把握></p> <p>① 適期に機械収穫ができるよう、ほ場を速やかに乾かすため、降雨により水が溜まっているところや田面が軟弱なほ場では、排水溝をさらえ、排水口とつなぐなどの排水対策を徹底する。</p> <p>② 籾の黄熟割合(90%)を確認し、適期刈取りをする。</p> <p><乾燥調製上の留意></p> <p>① 胴割れ等を防止するため、収穫籾は乾燥機に張込み後、5～6時間は通風乾燥を行い、急速に乾燥させないように注意する。</p> <p>② 籾の乾燥は、張込み量に応じた温度設定を行い、急激な毎時乾燥減率にならないよう注意する(毎時乾減率の目安は、0.8%以下である(酒米は0.5%以下))。</p>	
大豆	<p>① 排水溝をさらえ、排水口とつなぐなどの排水対策を徹底する。</p> <p>② 立枯性病害対策として、排水を徹底し、発病しにくい環境を作るとともに、予防と被害株を除去する。</p>	
小豆	<p>① 排水溝をさらえ、排水口とつなぐなどの排水対策を徹底する。</p> <p>② 雑草の多いほ場では刈払い機などによる除草を行う。</p>	
麦	<p>① 水稲のコンバイン収穫時、ほ場の四隅に轍(わだち)ができないように注意する。</p> <p>② 耕うん前に弾丸暗きよや額縁明きよを設け、排水を徹底する。</p> <p>③ 本暗きよがない場合は、通常の弾丸暗きよの設置に加えて、排水口手前を40cm程度掘り下げ、3本程度の放射状の弾丸暗きよをサブソイラーで施工する。</p>	
野菜	全般	<p>① 排水溝をさらえ、排水口とつなぐとともに、崩れた畝は、再度、管理機等で谷上げし排水対策を徹底する。</p> <p>② 風雨で茎葉が傷んだ場合、病害の発生に注意し早期に防除する。</p>
	キャベツ	<p>① 長雨により肥料成分が流れた場合、必要に応じて追肥を行う。</p> <p>② 殺菌剤、液肥散布による病害抑制と生育改善を行う。</p>

作物	栽培管理上の留意点と対応策	
野菜 (つづき)	レタス	<ul style="list-style-type: none"> ① 根圏環境の改善のため、中耕を行う。 ② 殺菌剤、液肥散布による病害抑制と生育改善を行う。 ③ 10月中旬以降にマルチ被覆を行い、ビッグベイン病対策を徹底する。
	たまねぎ	<ul style="list-style-type: none"> ① 苗床の谷溝さらえ等の排水対策を徹底するとともに、苗床栽培暦に準じて、防除を徹底する。 ② ベと病感染株の早期発見と抜き取りを徹底する。
	はくさい	<ul style="list-style-type: none"> ① 長雨により肥料成分が流れた場合、必要に応じて追肥を行う。 ② 殺菌剤、液肥散布により病害抑制と生育改善を行う。
	岩津ねぎ	<ul style="list-style-type: none"> ① 殺菌剤により病害抑制を行う。
	施設野菜	<ul style="list-style-type: none"> ① 換気・通風により、湿度条件の改善に努める。 ② 薬剤散布により病害虫抑制を行う。
果樹	いちじく	<ul style="list-style-type: none"> ① イチジクの落果や腐敗果は、ショウジョウバエ類の発生につながるので、できるだけ早く園外に持ち出し処分する。 ② 選別を丁寧に行うとともに、園内の清掃に努める。
	温州みかん	<ul style="list-style-type: none"> ① 浮皮の発生が懸念されるため、排水溝をさらえ、排水口とつなぐなどの排水対策を徹底するとともに、適期収穫を行う。
花き	<ul style="list-style-type: none"> ① 露地栽培では、排水溝をさらえ、排水口とつなぐなど、表面排水の徹底により、生育回復を促す。 ② 施設栽培では、換気・通風により、湿度条件の改善に努める。 ③ 花壇用苗物類ではかん水を控えめにし、根張り・草勢の回復に努める。 ④ 定期的な殺菌剤等の散布を行うとともに、発生初期を見逃さないよう、ほ場を良く観察する。 ⑤ 病害の発生を認めた場合は、罹病した葉や株、ポットなどを早急に処分するとともに、治療効果のある薬剤によるローテーション散布に心がける。 	

※本情報は、10月20日時点のデータを元に作成しています。

2 気象情報

(1) 日照不足と長雨に関する近畿地方気象情報 第1号

[平成29年10月17日 大阪管区气象台発表]

【概要】

近畿地方では、10月はじめから秋雨前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間の少ない状態となっています。この状態は、今後10日間程度続く見込みです。農作物の管理等に十分注意してください。

【日照時間と降水量（10月1日から10月16日まで）（速報値）】

	日照時間(h)	平年比(%)	降水量(㎜)	平年比(%)
豊岡	42.4	72.0	157.0	168.0
姫路	54.4	65.0	119.0	198.0
神戸	58.9	71.0	111.5	172.0
洲本	55.7	67.0	117.5	134.0

(2) 近畿地方の向こう1か月予報（10月21日～11月20日）

[平成29年10月19日 大阪管区气象台発表]

【特に注意を要する事項】

期間のはじめは日照時間が少なく、降水量の多い状態が続く見込です

【概要】

近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わります。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、近畿日本海側で多い確率50%、近畿太平洋側で多い確率60%です。日照時間は、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

【確率】

○気温、降水量及び日照時間

【近畿地方】

■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

(単位:%)

気温	20	30	50
降水量(近畿日本海側)	10	40	50
降水量(近畿太平洋側)	10	30	60
日照時間(近畿日本海側)	30	40	30
日照時間(近畿太平洋側)	40	40	20

○各週の気温経過 【近畿地方】

■低い ■平年並 ■高い

(単位:%)

1週目	20	40	40
2週目	20	30	50
3～4週目	20	40	40

○週別の天候

(1週目)10/21～27	(2週目)10/28～11/3	(3～4週目)11/4～17
前線や湿った気流の影響で、曇りや雨の日が多い見込みです。なお、台風第21号の影響を、大きく受けるおそれがあります。	日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
農産班:主作・機械担当 内線 4074
農産班:野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
農業技術センター 病害虫部 TEL (0790)47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)